

## オープニングでいきなり強豪激突！

### ～ 第29回日本ハンドボールリーグ開幕近づく～

第29回日本ハンドボールリーグの開幕が急接近！ 9月18日（土）、広島など4会場で男女の熱戦がスタート、来年3月6日までのレギュラーシーズンを戦い、3月19・20日のプレーオフ（東京・駒沢体育館）で日本リーグタイトルを争う。

7チーム3回総当たり制で上位4チームがプレーオフに進出する新システムとなった男子は、未到のV7を狙うホンダをはじめ、大同特殊鋼、湧永製薬、大崎電気がタイトル奪取に旺盛な闘志を燃やしており、例年以上に密度の濃い順位レースが予想される。順当ならば、この4チームが“スーパーファイナル”で火花を散らしそうだが、ホンダ熊本、トヨタ車体、アラコ九州も上位陣との力の差を年々縮めており、開幕ダッシュを狙って虎視眈々だ。

5チーム3回総当たり制の女子は、今シーズンも広島メイプルレッズ中心の優勝レースが必至。ホンダとともに前回V6を達成した名手たちが健在であり、林五卿、呉成玉のゴールデンペアもアテネ・オリンピックの大活躍（2位）で衰えぬ力を世界に知らしめた。

佐久川、大石ら日本代表メンバーを中心に戦力整備に余念のないオムロン、一気にトップゾーン進出を狙うソニーセミコンダクタ九州がクイーンへの挑戦権をめぐってしのぎを削り、これを追って中堅、若手の成長で戦力アップした北国銀行、前回の初勝利で活気づいたHC名古屋が続く展開になりそう。プレーオフは、これまで同様に上位3チームで争われる。

第1週では男子・大同特殊鋼 - 大崎電気、女子・オムロン - ソニーセミコンダクタ九州と、今後の順位レースを大きく左右しそうな好カードが組まれている。大同 - 大崎戦では、ヨーロッパ球界から復帰した白（大同）と、日本の若きエース・宮崎（大崎）の打ち合いが見もの。このほかでは外国人選手抜きの新陣容で臨むホンダが上昇ムードのアラコ九州、トヨタ車体を相手に、どんな戦いぶりを見せるかにも注目したい。

アテネ・オリンピックの活況を遠くながめる格好となったハンドボール界だが、男子が今春2月に4大会ぶりの世界選手権出場権を獲得、女子もアジア選手権（7月・広島）で初優勝を飾るなど明るい材料もある。4年後の北京オリンピックに向け、大きく希望をふくらまらるような躍動感あふれる好プレーの応酬に期待したい。



④ホンダ・羽賀 ⑤広島メイプルレッズ・林

## 第1週の日程

### [ 1 部 ]

9月18日（土）広島・東区スポーツセンター（アストラムライン線牛田駅徒歩2分）	13:00～（女）メイプルレッズ×HC名古屋
	14:40～（男）湧永製薬×トヨタ車体
山口・周南市総合スポーツセンター（JR山陽本線徳山駅徒歩15分）	12:00～（男）ホンダ×アラコ九州
	15:00～（男）大同特殊鋼×ホンダ熊本
熊本・山鹿市総合体育館（西鉄バス・日輪寺前徒歩15分）	17:30～（女）オムロン×ソニー
9月19日（日）広島・東区スポーツセンター（アストラムライン線牛田駅徒歩2分）	13:00～（男）湧永製薬×ホンダ熊本
岡山・岡山県体育館（JR山陽本線岡山駅徒歩10分）	13:00～（男）大同特殊鋼×大崎電気
	15:00～（男）ホンダ×トヨタ車体

### [ 2 部 ]

9月18日（土）東京・府中市立総合体育館 18:40～HC東京×豊田合成 福井・北陸電力福井体育館フレア 14:00～北陸電力×大阪ガス

# まずはプレーオフ切符獲得に全力投球

男子

## 【ホンダ】

リーグ新記録の6連覇を達成した後、チームをとりまく環境が激変。クリチエンコ、茅場、池辺、佐々木、斎藤とV6を支えた名手がチームを離れて臨む今シーズン。ライバルたちからの激しい追撃は必至なだけに、四方、広政、羽賀、加藤、谷口らキャリア豊富な面々に、出番の増える鈴木、小倉、横地、中谷、河瀬らの力をからめて、意地を見せたいところだ。

## 【大同特殊鋼】

創部40周年を迎えた節目の年だけに、「日本一」への限りない挑戦が大きなテーマとなる。白元詰の復帰で課題の決定力不足を克服でき、日原、荻田、高木のGKトリオに新キャプテン峯村や全日本の松林、昨季ブレイクした山本ら実績組も充実。ここに畠中、細谷、末松、板垣がからんでくれればさらに厚みが増す布陣となり、目標達成がより現実味をおびてこよう。

## 【湧永製薬】

主砲のプラマニスガがチームを離れ、中山新監督も采配に専念。大駒が抜けた穴は、新看板を背負って立つ古家、東、福田の中軸トリオでカバーする。とくに福田には湧永、そして日本を代表するエースとしての期待も大。選手登録は13人。ロングランを戦い抜くには不安も抱えるが、そこは総力をフル回転させて乗り切る構え。GK坪根をはじめ小沢、杉山、山口、下川らベテランの闘志は健在だ。

## 【大崎電気】

前回は勝点1差で4位に甘んじたが、ホープ宮崎が途中加入した終盤の3試合を連勝。ホンダ、大同特殊鋼のライバル勢を倒した星が含まれているだけに、今リーグへの注目度は高まる一方だ。岩本、中川、宮崎のバックプレーヤートリオは豪華そのもの。これにポスト東、サイド豊田、太田らとのコンビがかみ合えば一気の進撃も。GK濱口を中心とするアグレッシブなDFも浮沈のカギ。

## 【ホンダ熊本】

変革の時を迎えた。クジノフ、ヴォル、田中の主力組に加え、寺島監督も退任。代わりにホンダから日本を代表するポスト池辺とGK松延が新たに加わり、台湾の大砲・譚崇聖が兵役から復帰を果たした。2年目の若松、新人の大井ら若手の成長、活躍にも期待したい。これまでになかった「速攻型」のスタイルを目指すなど、大きく生まれ変わったチームでプレーオフ圏内に挑戦する。

## 【トヨタ車体】

上位相手に接戦するも、勝負所での1点が取れず、守れずという惜敗があまりに多かった。そんな前回の課題を克服すべく、カムバックした吉田、大崎電気から移籍した辻のベテランの巧さに加え、香川、GK木下ら若い力を前面に押し出すことで上位の壁突破を狙う。パワーアップした長谷川の体格を生かした強靱なDFからのスピードあふれる速攻で、いかに得点を積み上げるか。

## 【アラコ九州】

「身体は小さいがスピードとアイデアを駆使して大きな相手に向かっていくところを見て欲しい」と元島監督。攻撃では呉・朴のセンターラインを軸とし、両サイドの村上直、村上秀へのスピード豊かなパス展開で揺さぶりをかけ、新加入のGK吉田が最後の砦となるアグレッシブなDFからの速攻で勝機を切り開く構え。チームが勢いに乗るためにも石黒、阪ら若手の台頭は欠かせまい。

女子

## 【広島メイプルレッズ】

昨シーズンは未だの6連覇を達成したばかりか国内主要タイトルを総ナメ。アテネ・オリンピックで銀メダルを獲得した林五郎、呉成玉のいっそう増した円熟味に加え、全日本でも売出し中の守護神・浅井や、大前、杉本もすっかり自信をつけた。青戸、河本らのベテランも健在。これにルーキー菅野も頭角を現わしており、厳しいマークをはねのけての進撃継続が有力視される。

## 【オムロン】

昨シーズンはポスト坂元らをケガで欠いて苦しみながらも西本、水野らの成長などでカバーしてプレーオフ進出。今シーズンは坂元も復帰、2年目の洪延昊も本領発揮が予想されるし、売り出し中の東濱も力強い新風を吹き込んでおり、プラス材料あふれる楽しみな状態での臨戦となる。創部30周年にあたるシーズンだけに、女王返り咲きを果たして花を添えたい。

## 【ソニーセミコンダクタ九州】

一昨シーズンの成績を大きく上回り、プレーオフ出場圏内に迫った昨シーズンは飛躍の1年だった。田中、GK飛田の全日本コンビが攻守の柱となり、抜群の得点力を誇る郭恵静、センスあふれる長野、スピードのある山田、成長株のポスト高栖など充実のメンバーが揃う。サイド寺田がシャトレゼから移籍加入したことも心強い。持ち味であるスピードある展開で悲願の優勝を目指す。

## 【北国銀行】

全日本でも活躍する中村主将をはじめGK田中、一昨シーズンの新人王・小野澤、エース上町と好選手が揃いながら、昨シーズンはまさかの低迷(5位)を強いられた。雪辱に燃える今シーズンは、GK田中から北岡、宮前、井上、若松が走る「守って速攻」で2年ぶりのプレーオフ復活を期す。若い選手が多いだけに、白星先行で波に乗りたい。スタートダッシュがカギを握りそうだ。

## 【HC名古屋】

クラブ会員の支援に応えるためにも「熱き思いを具体的に表したい」と言う田中ヘッドコーチは、1点に意味のあるゲーム展開を目指す。新主将に任命された菅谷美奈や左腕シューター佐藤ら既存の戦力は健在。即戦力の期待がかかる長田、岡田、中村の新戦力や菅谷美枝のケガからの復帰もあり、戦力値は確実にアップ。前回最終戦でリーグ初白星をマークした好ムードを持続させたい。

## 2部男子 HC東京 - 北陸電力のマッチレースが

1部と同じく9月18日(土)に熱戦がスタートする2部男子は、1部7チーム制への移行にともない5チームの3回総当たりで優勝が争われる。

前回9戦全勝で首位を独走、まざまざと力の差を見せつけた北陸電力は、左腕コンビの桜井、杉山、2年目の高橋ら若手の台頭がめざましく、エース神田、北村、前田、表ら主力陣とのコンビが良好化したことで、どこからでも得点を狙える攻撃力が備わってきた。将来性豊かなルーキーポスト落合の加入も好材料。G K陣は安藤、西田、ベテラン大原のG Kトリオで万全を期す。

その北陸電力の進撃に立ちはだかるのがHC東京。前回1部8位で2部への降格を余儀なくされたが「強く愛されそして開かれた」を合い言葉にチーム結成して4年目。佐藤新監督のもと、五島、飯島、木村、伊藤、G Kの宇田川兄弟ら歴戦の名

手たちが、一戦一戦にあふれる情熱を注ぎ込む。北陸電力とのマッチレースを勝ち抜くためには飯野、佐々木ら若手の奮戦に期待がかかる。

前回2位のトヨタ自動車は、新キャプテンの厚沢をはじめ、甲斐田、光田、三上、田中、G K佐藤らキャリア組が中心となる布陣に変わりが、センス抜群のシューター福田らルーキー4選手が加わったことでチームに活気が生まれた。持ち前のスケール豊かな攻守でどこまで“2強”に迫れるか。

不動のエース三羽、八幡、向井らがチームを引っ張る大阪ガス、佐藤豪、山田の主軸コンビが中心となる豊田合成の両チームは「まず1勝」で波に乗りたい。大阪ガス13人、豊田合成12人の選手登録と戦力の薄さは否めないだけに、いかに総力戦に持ち込んで勝機を見出すか。得点力アップとともにD F面の奮起も欠かせまい。

## チャレンジリーグを実施

昨年度よりスタートしたチャレンジリーグを、今年は女子大会として実施した。日本リーグチームと学生チームの交流により、日本リーグ若手選手並びに学生選手双方の育成強化を図ることが狙いで、昨年は男子のみで行った。

大会は9月4日から6日まで東京女子体育大会体育館に日本リーグのトップチームと高い実力を誇る学生各4チームが熱戦を展開、若手の進境著しいオムロン、ソニーセミコンダクタ九州らが好内容の戦いを繰り広げ、学生界では筑波大の健闘も目立った。

第1日目:9月4日(土)	
広島メイプルレッズ	28(18-12,10-9)21 国士館大学
北国銀行	35(17-8,18-10)18 東京女子体育大学
オムロン	21(10-4,11-5)9 筑波大学
ソニーセミコンダクタ九州	24(14-10,10-11)21 日本体育大学
第2日目:9月5日(日)	
北国銀行	25(14-7,11-9)16 国士館大学
オムロン	23(12-3,11-8)11 日本体育大学
ソニーセミコンダクタ九州	26(13-11,13-15)26 東京女子体育大学
筑波大学	27(17-10,10-12)22 広島メイプルレッズ
北国銀行	27(17-5,10-9)14 日本体育大学
オムロン	26(15-8,11-4)12 国士館大学
ソニーセミコンダクタ九州	23(9-11,14-10)21 筑波大学
広島メイプルレッズ	28(15-5,13-14)19 東京女子体育大学
第3日目:9月6日(月)	
オムロン	23(15-6,8-10)16 東京女子体育大学
広島メイプルレッズ	32(17-8,15-4)12 日本体育大学
筑波大学	17(12-3,5-11)14 北国銀行
ソニーセミコンダクタ九州	26(13-5,13-9)14 国士館大学

## 第28回リーグ結果

1部男子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	1部女子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
ホンダ	11	0	3	22	358	279	79	広島メイプルレッズ	14	0	1	28	450	344	106
湧永製薬	10	1	3	21	369	288	81	シャトレゼ	9	2	4	20	383	319	64
大同特殊鋼	10	1	3	21	344	288	56	オムロン	10	0	5	20	351	339	12
大崎電気	10	0	4	20	338	308	30	ソニーセミコンダクタ九州	7	2	6	16	414	362	52
ホンダ熊本	6	0	8	12	327	340	-13	北国銀行	2	0	13	4	286	397	-111
トヨタ車体	4	0	10	8	313	327	-14	HC名古屋	1	0	14	2	298	421	-123
アラコ九州	3	1	10	7	322	358	-36				(1部男女はレギュラーシーズン順位。)				
HC東京	0	1	13	1	213	396	-183				(1~3位の順位はプレーオフで決定。)				

男子プレーオフ準決勝・大同特殊鋼	22 - 21	湧永製薬	決勝・ホンダ	25 - 19	大同特殊鋼
女子プレーオフ準決勝・オムロン	21 - 20	シャトレゼ	決勝・広島メイプルレッズ	35 - 27	オムロン

2部男子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
北陸電力	9	0	0	18	288	148	140
トヨタ自動車	5	0	4	10	210	208	2
大阪ガス	3	0	6	6	195	232	-37
豊田合成	1	0	8	2	184	289	-105

## 第28回リーグ表彰

### 男子1部

・最高殊勲選手賞	四方 篤 (ホンダ)	2回目
・最優秀監督賞	荒木 誠司 (ホンダ)	初
・得点王	呉 相民 (アラコ) 102点	初
・フィールド得点賞	金 性憲 (大同) 74点	初
・シュート率賞	松林 克明 (大同) 0.712	2回目
・7mスロー得点賞	呉 相民 (アラコ) 42点	初
・7mスロー阻止賞	吉井 丈晴 (ホンダ) 0.435	初
・最優秀選手賞	坪根 敏宏 (湧永)	初
・ベストセブン賞	GK 坪根 敏宏 (湧永) 4回目	
	CP 下川 真良 (湧永) 3回目	
	山口 修 (湧永) 3回目	
	広政 宜孝 (ホンダ) 3回目	
	金 性憲 (大同) 初	
	中川 善雄 (大崎) 3回目	
	呉 相民 (アラコ) 初	
・ベストディフェンダー賞	永島 英明 (大崎)	初
・フェアプレー賞	湧永 製薬 65点/14試合 (4.6点/試合)	
・最優秀新人賞	福田 大樹 (湧永)	

### 女子1部

大前 典子 (広島)	初
林 五卿 (広島)	7回目
郭 惠静 (ソニー) 142点	初
郭 惠静 (ソニー) 115点	初
青戸 あかね (広島) 0.795	初
早船 愛子 (シャト) 40点	初
高森 妙子 (広島) 0.400	初
呉 成玉 (広島)	5回目
GK 飛田 季実子 (ソニー)	初
CP 橋本 寛子 (シャト)	2回目
青戸 あかね (広島)	初
佐久川ひとみ (オム)	3回目
田中美音子 (ソニー)	7回目
早船 愛子 (シャト)	初
呉 成玉 (広島)	6回目
稲吉 希穂 (シャト)	初
シャトレーゼ 62点/15試合 (4.1点/試合)	
高栖 由香 (ソニー)	

### 男子2部

・最多得点賞	厚沢 憲彦 (トヨタ) 53点	初	・敢闘賞	
・フィールド得点賞	佐藤 豪洋 (合成) 47点	初	GK 福田 竜介 (ガス)	初
・シュート率賞	高橋 準 (北電) 0.741	初	CP 杉山 卓也 (北電)	初
・7mスロー得点賞	厚沢 憲彦 (トヨタ) 13点	初	神田 友和 (北電)	3回目
・7mスロー阻止賞	安藤 功規 (北電) 0.556	初	佐久間 俊輔 (北電)	2回目
・ベストディフェンダー賞	山田 浩二 (合成)	初	厚沢 憲彦 (トヨタ)	2回目
・フェアプレー賞	北陸 電力 50点/9試合 (5.6点/試合)		田中 勝弘 (トヨタ)	2回目
・最優秀新人賞	高橋 準 (北電)		佐藤 豪洋 (合成)	初

### レフェリー

・最優秀レフェリー賞	家永 昌樹 (大阪)	福島 亮一 (熊本)	・最優秀新人レフェリー賞	該当者なし
------------	------------	------------	--------------	-------

## 日本リーグのホットな情報をどうぞ.....

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHLニュース」

年間20回発行予定/3000円 (郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)